

インターネットデータセンターで活躍するEden 従量課金以外にも幅広く利用するメディアエクステンジ

10Gbpsイーサネットのバックボーンネットワークを基盤にインターネット接続サービス、ハウジングサービスそしてレンタルサーバサービス等を全国の企業・団体に提供しているメディアエクステンジ株式会社 (MEX)。MEXのネットワークはピア数で150以上(05年5月現在)を数え、国内トップクラスの容量と冗長性を提供するインターネットデータセンター(IDC)である。そのセンターで24時間365日ネットワークを管理しているのがネットワーク&サーバ監視プラットフォームEden Network/System Management Suite(以下、Eden)。

メディアエクステンジ株式会社 取締役 技術部長 高田 寛氏がEdenの活用方法を語る。

2,700を超えるルータのポート数

まず、私どものネットワークに関してですが、現在監視しているルータのポート数は2,700を超え、全体では数千になりますので、その先に接続されている機器類は膨大な数になります。それらを課金ポート用、そしてラック関係用と、業務ごとにデータを監視するためにEdenを使い分けています。

データの保存

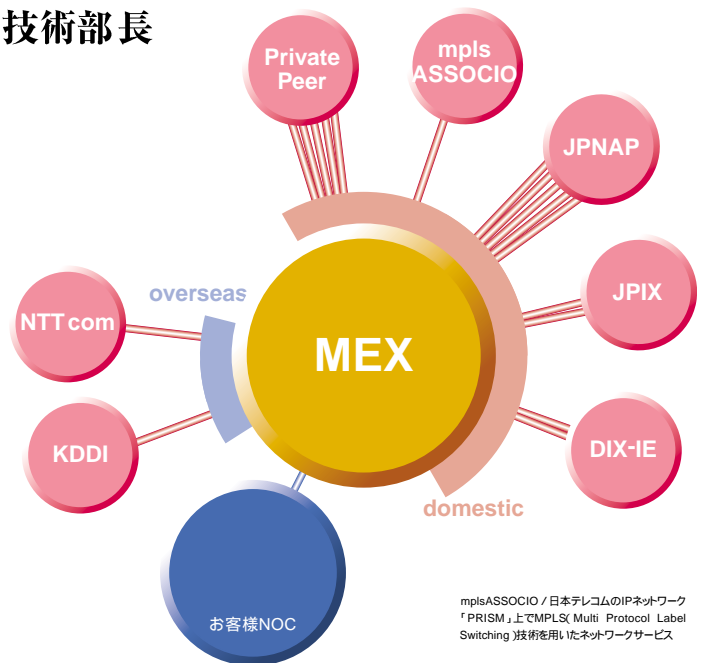
Edenの一番の特長は監視データを圧縮せず、ヒストリカルにすべて保存できることで、これが大きなポイントです。何故かと言えば、弊社はネットワークのトラフィックに対して従量課金を行ってしまっていて、その課金データを保存する義務があるからです。

MRTGはその場を見るには良いのですが、時間が経つと圧縮され簡単に参照できません。比較して、Edenは高い機能性と優位性を持っていると言えます。データは当初データベースに収納していましたが、今ではEden標準のデータフォーマットで記録しています。

また、ちょっと変わった使い方として、このヒストリカルデータはIRやセミナーにも使われています。



メディアエクステンジ(株)取締役 技術部長 高田 寛氏



シンプルな管理

もう1つの特長として、運用管理のシンプルさがあげられます。Webベースですので、オフィス、家庭あるいは出先どこにいても同じ条件で同じデータを見ることができます。限られた人的リソースで運用していますので、Edenを使うことにより、障害発生時にはそれへの対応時間が短くすみます。

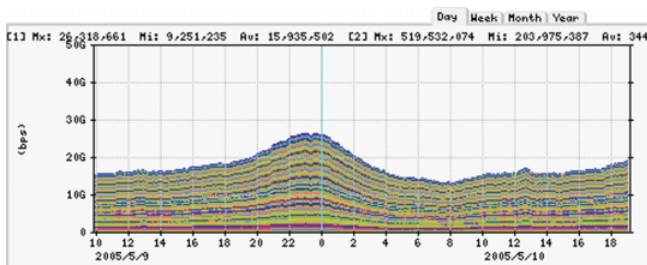
トラップ機能

先ほどのデータの保全に関連しますが、Edenのトラップ機能にも満足しています。トラフィックデータはEdenのサーバから取りにいけますが、それ以外にポートのリンクのアップ/ダウン等、ネットワーク機器サイドから送ってくる情報も同じ様に全部記録されます。記録されると同時に我々管理者にメールで知らせてくれます。

障害ではないのですが、どこかのピアがダウンしたとか温度がしきい値を超えたりとかはありますので、結構助かっています。

便利なグラフィック機能

もう1つ感心する点はグラフです。とても見やすく使いやすいです。私どもは技術者ですので、Edenの周辺部分、スケジューラとかゲートウェイを作ったこともありましたが、ビジュアルは不得意です。Edenは見せる部分、特に重ね合わせ機能の開発もきちんとして行われています。



グラフを見ていると何か今日は変だなと分かります。そうしますと先週の、先月の、半年前のデータと比べますが、それらの作業は日付を入力するだけです。近頃では重ね合わせるデータ項目が増えてきていますが、さまざまな分析に使っています。そうそう、今日はウィルスが流行っているというのも分かります。国際トラフィックが増えるので。

エンドユーザ向けの監視サービス

社内ユースばかりでなく、弊社では要望に基づいて顧客向けにネットワークとサーバの監視サービスを04年から提供しています。今後このようなサービス形態が増えていくものと思います。

データから見えるユーザ事情

データからユーザのこんな姿が見えてきます。少し前までは、明け方の時間帯になるとトラフィック量が減っていましたが、最近はピークとボトムとの差が小さくなってきて

会社概要

メディアエクステンジ株式会社 (MEX)

本社：〒170-6010

東京都豊島区東池袋 3-1-1

サンシャイン60 10F

<http://www.mex.ad.jp/>

設立：1997年5月

資本金：16億4,150万円

事業：付加価値の高いインターネットデータセンター事業を中心とし、高帯域で高品質なインターネット接続サービス事業等を展開。

2004年9月、東証マザーズへ上場。



います。ファイル転送など人間が絡まないトラフィックが増えているからでしょう。

それと週末には実に大勢の方がネットワークを使っているのが分かります。

設備投資計画にも活用

最近ではすべてのネットワーク機器の、すべてのポートのデータを取っています。バックボーンネットワークトラフィックばかりでなく、私たちが使っているのも含めて、SNMPで取れるすべてのデータです。これには環境監視装置も含まれます。



具体的には温度、湿度、電圧、電流です。実際ラック1本あたりの消費電力量は近年増加傾向にあります。これらのデータも同様に長期間保存しておきたいのです。温度を見ることによって、その年の天候、その時の冷房能力そしてラックごとの状態までもがわかります。過去のデータと現在までの推移を見て、将来の設備投資計画を立てる基礎データを取得する上で重要であり、欠かせません。ハードディスクを増やす出費よりも、保存しておけるメリットの方がずっと大きいですし、結果としてトータル運用コストの軽減になっています。

座右のプラットフォーム

お客様から課金データが正しいかといったクレームを受けたことはありません。安定して稼働することがとても大事です。

可用性、信頼性は確かに高いものがあります。だからと言って、管理が大変だと思ったことはありません。Edenは手間のかからないネットワークとサーバの監視プラットフォームです。

第一号ユーザの開発パートナー

MEXの歴史は実はEdenの歴史でもある。MEXが従量課金を始めるに際し同社は市場にネットワーク監視ソフトを求めたが、要求を満足させるものに巡り合えなかった。そこで、MEXはオムニサイに共同開発を打診し、生まれたのがEden ver1.0だ。同社は従量課金にEdenを採用した最初のユーザである。

お問い合わせ

株式会社オムニサイソフトウェア

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢2-11-3

第二集花園ビル

Tel.03-5481-1070(代) Fax.03-5481-8432

info@omnisci.co.jp <http://www.omnisci.co.jp/>